

第21期 第37回 筑前海区漁業調整委員会議事録概要

1. 日 時 令和3年1月18日(月) 13時52分～14時40分
2. 場 所 福岡県庁 漁業調整委員会室(福岡市博多区東公園7番7号)
3. 出席者
筑前海区漁業調整委員会 委員9名
4. 臨席者
福岡県農林水産部水産局漁業管理課 3名
筑前海区漁業調整委員会事務局 3名
福岡県水産海洋技術センター 1名
福岡県漁業協同組合連合会 1名
5. 議題及び議決内容
 - (1) 唐津湾におけるかたくちいわしまき網漁業の操業協定について(協議)
(説明)
事務局から資料1に基づき、現行通りの内容で協定を更新する案で、筑肥連合海区漁業調整委員会に臨みたい旨の説明がなされた。
(主な質疑や意見)
特になし
(審議結果)
原案のとおり承認された。
 - (2) 福岡県海域に入漁する佐賀県いかつり漁船(5トン以上)の操業について(協議)
(説明)
漁業管理課より資料2に基づき、入漁許可枠は昨年と同じ20隻とする案で、筑肥連合海区漁業調整委員会に臨みたい旨の説明がなされた。
(主な質疑や意見)
特になし
(審議結果)
原案のとおり承認された。
 - (3) 佐賀県海域に入漁する福岡県ごち網漁業に係る操業協定について(協議)
(説明)
事務局から資料3に基づき、現行通りの内容で協定を更新する案で、筑肥連合海区漁業調整委員会に臨みたい旨の説明がなされた。
(主な質疑や意見)
特になし
(審議結果)

原案のとおり承認された。

(4) 日本海・九州西広域漁業調整委員会について (報告)

(説明)

事務局から資料4に基づき、報告がなされた。

(主な質疑や意見)

委員：全体的に資源が減少しているなかトラフグに関して2027年漁期を目処に目標値が定められているが、資源を回復させる具体的な方法は、どのような方法なのか。

事務局：トラフグについては、新たにTACによる資源管理を検討しながら進めたいこうという流れがあるようだ。

(5) その他

特になし